

< 2. 2022年12月期決算のポイント >

2-1. 連結決算概要

2-2. セグメント別売上高及び営業利益の推移

2-3. 連結貸借対照表

2-1. 連結決算概要

- ◆ 売上高は、大規模な海洋環境調査や防災・減災関連業務、インフラ施設の設計・維持管理関連業務等が寄与し、230億3千5百万円
- ◆ 売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに過去最高を更新

(単位：百万円)

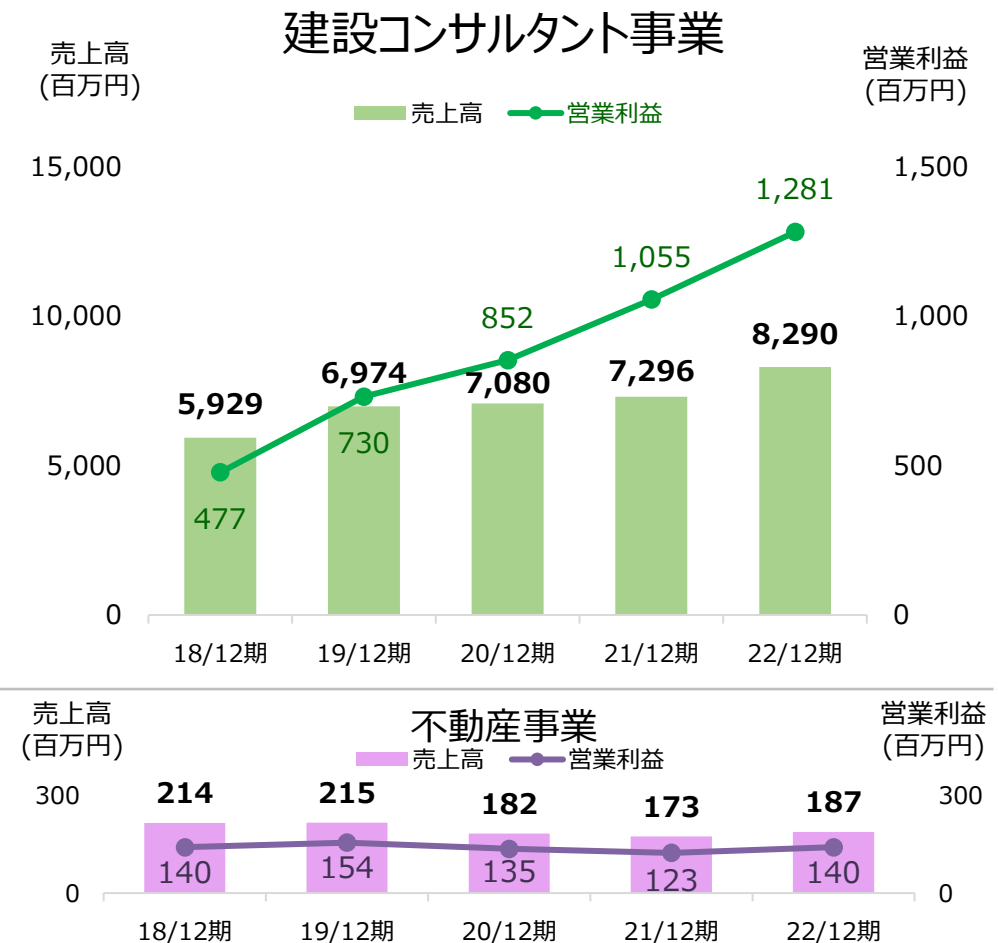
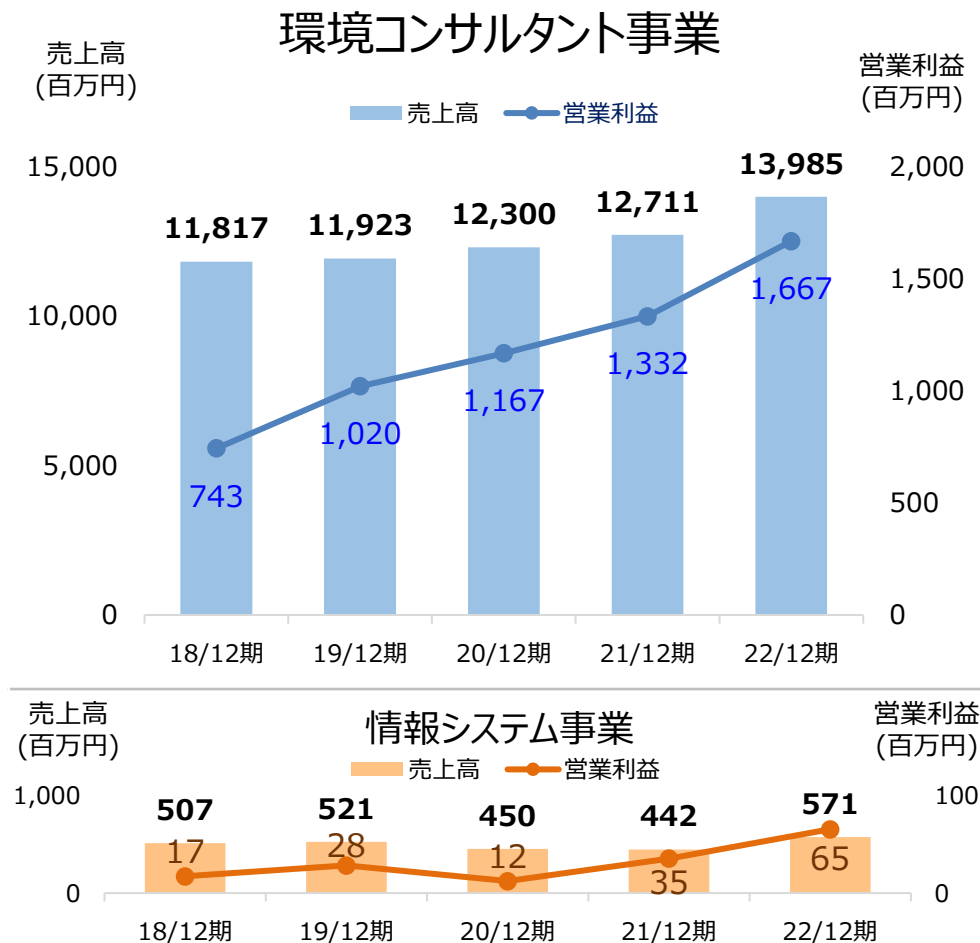
	20/12期	21/12期	22/12期
売上高	20,014	20,623	23,035
営業利益 (率)	2,168 (10.8%)	2,547 (12.4%)	3,154 (13.7%)
経常利益 (率)	2,109 (10.5%)	2,107 (10.2%)	3,278 (14.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	1,345 (6.7%)	2,083 (10.1%)	2,149 (9.3%)

過去最高
を
更新

2-2. セグメント別売上高及び営業利益の推移

- ◆ 環境コンサルタント事業の売上高は18/12期比18.3%増、営業利益は同124.4%増
- ◆ 建設コンサルタント事業の売上高は18/12期比39.8%増、営業利益は同168.6%増

※セグメント間取引を除く



2-3. 連結貸借対照表

- ◆ 流動資産は49億5千6百万円増の155億9千6百万円
(現預金及び収益認識基準等の適用により、受取手形、営業未収入金及び契約資産の増加が主な要因)
- ◆ 固定資産は14億7千6百万円増加の183億5千9百万円
(応用生命科学研究センターに対する建設仮勘定の増加が主な要因)
- ◆ 自己資本比率は72.7%と1.4ポイント減少

22/12期

